

# 第549回 海務協議会

(1) 日時：平成30年3月14日（水） 13：30～

(2) 場所：第一港湾合同庁舎 2階 第一会議室

(3) 議題：

1. 「平成29年の全国の税関における関税法違反事件の取締り状況」について  
監視部：佐藤 特別監視官
2. 「平成29年の横浜税関における密輸事犯摘発状況」について  
監視部：鳥居 統括監視官
3. 「資料展示室リニューアルオープン&庁舎見学会」について  
監視部：篠原 管理課長

(4) その他・質疑応答

開催予定日 平成30年5月9日（水） 開催予定

開催場所 第一港湾合同庁舎 2階 第一会議室

当協会に関するご質問、議題等提起がございましたら、  
お気軽に事務局宛にご連絡下さい。

公益財団法人 日本関税協会横浜支部

TEL 045-680-1757

FAX 045-680-1758

E-mail bra\_yokohama@kanzei.or.jp

<http://www.yokohama-customs.go.jp> （横浜税関）

<http://www.kanzei.or.jp> （日本関税協会）

<http://www.kanzei.or.jp/yokohama/> （日本関税協会横浜支部）

# 報道発表

平成 30 年 2 月 23 日  
財 務 省

## 金地金の密輸入を 1,347 件摘発/押収量は 6 トン超え

-平成 29 年の全国の税関における金地金密輸入事犯の摘発状況-

財務省は、平成 29 年の全国の税関における金地金密輸入事犯の摘発状況をまとめましたのでお知らせします。

- ▶ 平成 29 年に全国の税関が摘発した金地金\*密輸入事犯の件数は 1,347 件(前年比 66%増)、押収量は 6,236kg (前年比約 2.2 倍)と、深刻な状況が続いています。

\* 金地金には、金塊に加えて一部加工された金製品も含む

過去 10 年間の摘発状況

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
摘発件数(件)	4	27	15	17	18	12	119	465	811	1,347
押収量(kg)	94	214	92	63	79	133	449	2,032	2,802	6,236 <sup>(注)</sup>

(注)平成 29 年の押収量は速報値

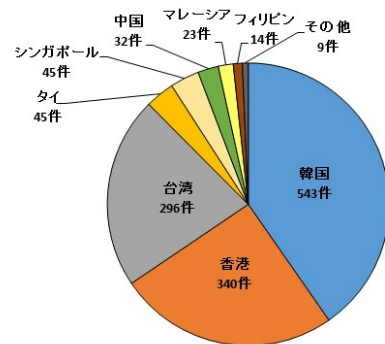
- ▶ 摘発した事犯を密輸形態別にみると、航空機旅客・乗組員による密輸入が 1,270 件と全体の 9 割以上を占めました。密輸仕出地別にみると、韓国、香港、台湾の順に摘発件数が多く、上位 3 か国・地域で全体の約 9 割を占めました。

密輸形態別の摘発状況 (H29)

密輸形態	摘発件数(件)	押収量(kg)
航空機旅客等	1,270	4,779
商業貨物	48	1,152
船員等	29	305
合計	1,347	6,236

(注)航空機旅客等には航空機乗組員を含み、船員等には船舶旅客を含む

密輸仕出地別の摘発件数 (H29)



### [告発事例]

平成 29 年 11 月、沖縄地区税関は、香港からクルーズ船で那覇港に到着し、金地金約 27kg(約 1 億 2,500 万円相当、脱税額約 1,000 万円)を密輸入した、同船乗組員等中国人男性 3 名及び中国人女性 1 名を告発



[問い合わせ先]

財務省関税局調査課 代表 03-3581-4111

(内線) 5389

# 報道発表

平成 30 年 2 月 23 日

財務省

## 覚醒剤の押収量が 2 年連続 1 トン超え

-平成 29 年の全国の税関における関税法違反事件の取締り状況 -

財務省は、平成 29 年の 1 年間に全国の税関が空港や港湾等において、不正薬物の密輸入その他の関税法違反事件を取り締まった実績をまとめましたのでお知らせします。

### 1. 不正薬物等

不正薬物<sup>\*1</sup>全体の摘発件数は 784 件(前年比 12%減)、押収量<sup>\*2</sup>は約 1,379 kg (前年比 16%減)といずれも減少したが、深刻な状況が継続

\*1 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA 等)、向精神薬及び指定薬物をいう

\*2 錠剤型薬物を除いたもの

#### [覚醒剤事犯]

摘発件数は 151 件(前年比 45%増)と大幅に増加

押収量は約 1,159 kg<sup>\*3</sup>(前年比 23%減)と、“**2 年連続 1 トン超え**”を記録

\*3 薬物乱用者の通常使用量で約 3,864 万回分、末端価格にして約 741 億 9,300 万円に相当

#### ➤ “**大口事犯を複数摘発**”

- ・ 洋上取引による事犯を摘発
- ・ 商業貨物及び国際郵便物において、一度の押収量として過去最高となる事犯を摘発
- ・ 1 件当たりの平均押収量は約 8 kg

#### ➤ “**航空機旅客による密輸入の活発化**”

- ・ 摘発件数は 99 件(前年比 87%増)、押収量は約 190kg(前年比約 2.4 倍)と、いずれも大幅に増加
- ・ タイからの密輸入の摘発件数が前年比約 6.7 倍(20 件)、マレーシアが 6.5 倍(13 件)
- ・ タイ・マレーシアからの密輸入の半数以上は、若年層(20~30 代)の女性によるもの

#### [大麻事犯]

摘発件数は 171 件(前年比 45%増)と増加し、3 年連続 100 件超え

押収量は約 130 kg(前年比約 14.9 倍)と、減少傾向から一転大幅に増加

#### [指定薬物<sup>\*4</sup>事犯]

摘発件数は 274 件(前年比 43%減)、押収量は約 8 kg(前年比 57%減)と、いずれも大幅に減少

\*4 中枢神経系の興奮・抑制・幻覚の作用を有する蓋然性が高く、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれがあるとして、厚生労働大臣が指定する薬物(医薬品医療機器等法第 2 条第 15 項)

### 2. その他

- 偽造クレジットカードの密輸入事犯の摘発が 67 件(前年比約 6.1 倍)と急増
- 知的財産侵害事犯として、商標権を侵害する電源アダプタ等の密輸入事犯を 10 件告発

[問い合わせ先]

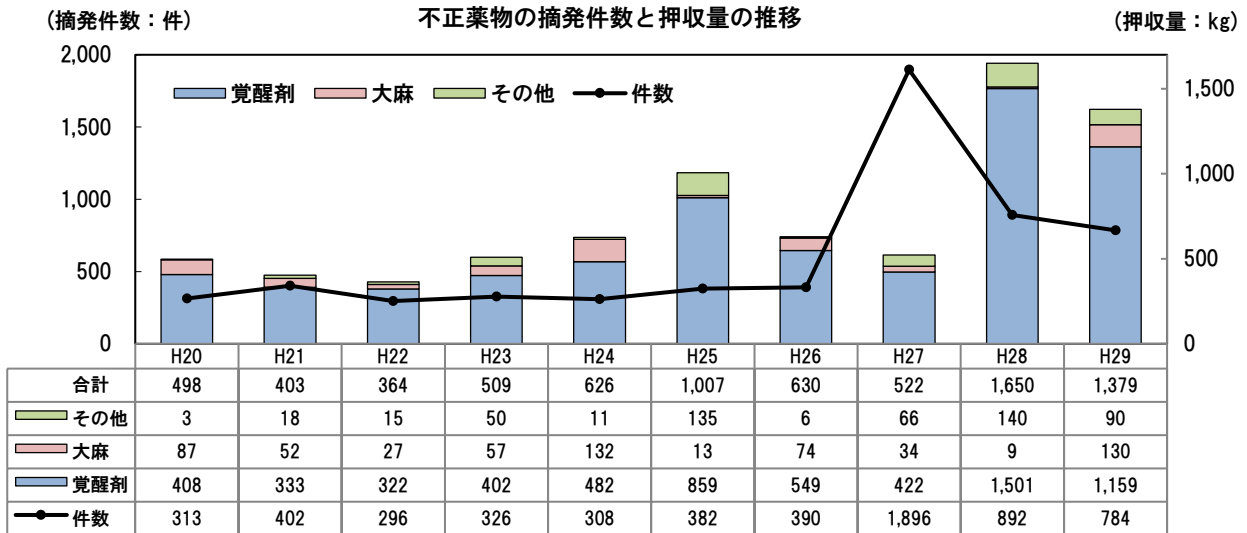
財務省関税局調査課 代表 03-3581-4111

(内線) 5389

# 平成 29 年の全国の税関における関税法違反事件の取締り状況

## 1. 不正薬物等

不正薬物全体の摘発件数は 784 件（前年比 12%減）、押収量は約 1,379 kg（前年比 16%減）といずれも減少したが、摘発件数については過去 3 番目、押収量については過去 4 番目と、依然として深刻な状況となっている。



(注) その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA 等）、向精神薬及び指定薬物をいう。  
 なお、指定薬物は平成 27 年 4 月に「輸入してはならない貨物」に追加された。

### (1) 覚醒剤

- 摘発件数は 151 件（前年比 45%増）と大幅に増加した。また、押収量は約 1,159 kg（前年比 23%減）と、過去最高を記録した前年から減少したものの、2 年連続で 1 トンを超えた。
- 押収した覚醒剤は、薬物乱用者の通常使用量で約 3,864 万回分、末端価格にして約 741 億 9,300 万円に相当する。

### ◆大口事犯を複数摘発

- 洋上取引による事犯を摘発
- 商業貨物及び国際郵便物において、一度の押収量として過去最高となる事犯を摘発
- 1 件当たりの平均押収量は約 8 kg

#### (事例 2) 海上貨物《商業貨物で過去最高の押収量》

中国から到着した海上貨物の検査において、猫砂の袋内に隠匿されていた覚醒剤約 351kg を摘発（平成 29 年 5 月横浜税関）



#### (事例 1) 洋上取引

茨城県沖の海上において洋上取引され、同県内の漁港に陸揚げされた覚醒剤約 475kg を摘発（平成 29 年 8 月横浜税関及び東京税関）



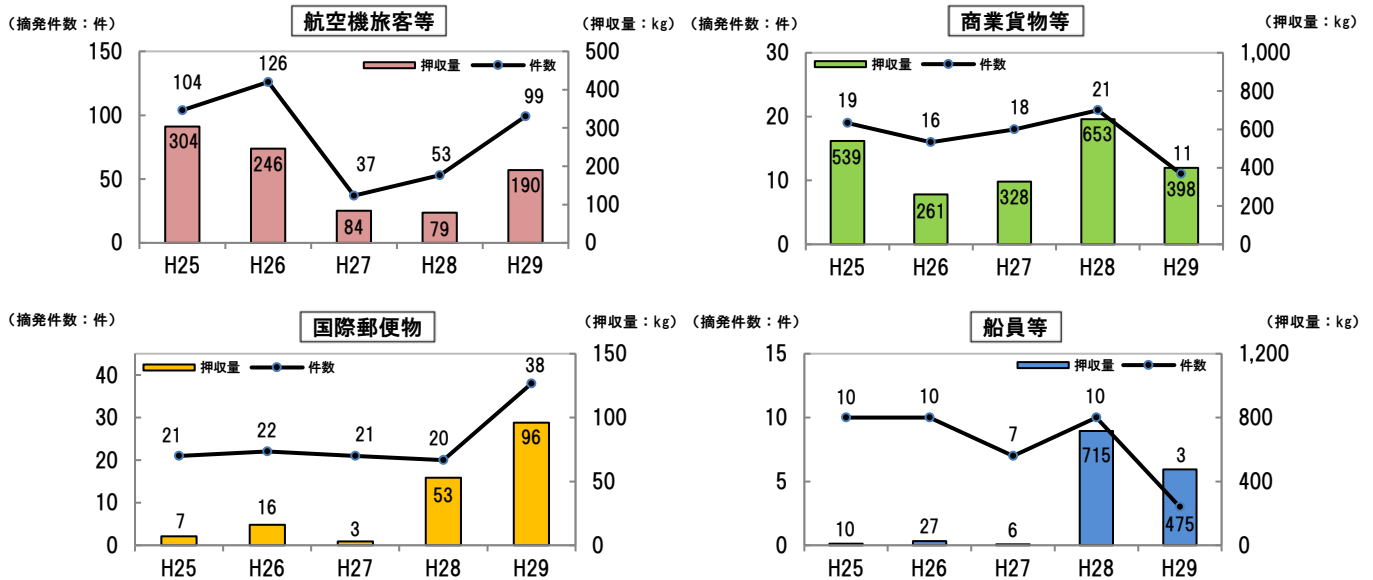
#### (事例 3) 国際郵便物《国際郵便物で過去最高の押収量》

米国から到着した国際スピード郵便物の検査において、調味料の袋内に隠匿されていた覚醒剤約 64kg を摘発（平成 29 年 12 月東京税関）



- 密輸形態別にみると、摘発件数・押収量ともに、航空機旅客等及び国際郵便物による密輸入が増加した。商業貨物等及び船員等による密輸入が減少したが、押収量は引き続き高水準となった。なお、国際郵便物による密輸入が摘発件数・押収量とも過去最高を記録した。

密輸形態別の摘発件数・押収量の推移



### ◆航空機旅客による密輸入の活発化

- 摘発件数は99件(前年比87%増)、押収量は約190kg(前年比約2.4倍)と、大幅に増加
- タイからの密輸入の摘発件数が前年比約6.7倍(20件)、マレーシアが6.5倍(13件)
- タイ・マレーシアからの密輸入の半数以上は、若年層(20~30代)の女性によるもの

密輸仕出地別の摘発件数  
(上位5か国・地域【航空機旅客】)



#### ●タイ・マレーシアからの密輸入の特徴 (摘発された旅客の性別・年代)

- タイ**  
女性：17件(うち若年層：14件)  
男性：3件
- マレーシア**  
女性：10件(うち若年層：7件)  
男性：3件

#### (事例4) 航空機旅客

タイから到着したタイ人女性の携帯品検査において、ネックピロー内に隠匿された**覚醒剤 約5kg**を摘発(平成29年4月東京税関)

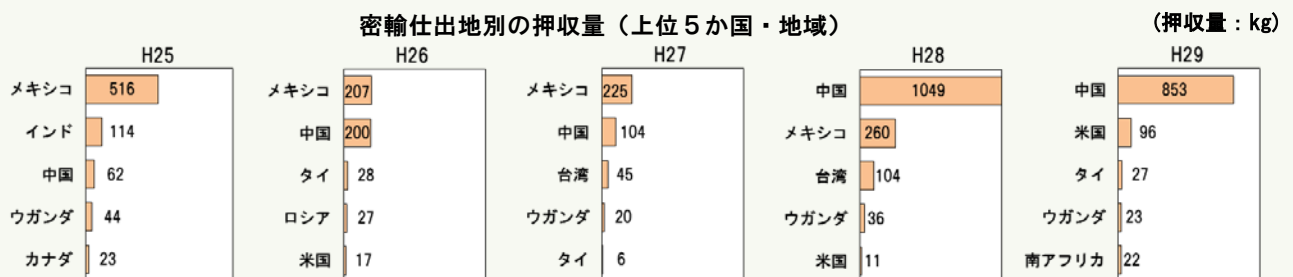


- 密輸仕出地別に摘発件数をみると、タイが21件(前年比3.5倍)と大幅に増加し、6年連続で最も多かった中国を抜いて最多となった。また、マレーシアが14件(前年比7倍)と大幅に増加した。押収量についてみると、中国が約853kg(前年比19%減)と全体の7割以上を占めた。一方、メキシコが約14kg(前年比95%減)、台湾が約7kg(前年比93%減)と、大幅に減少した。

## ◆密輸仕出地の傾向の変化

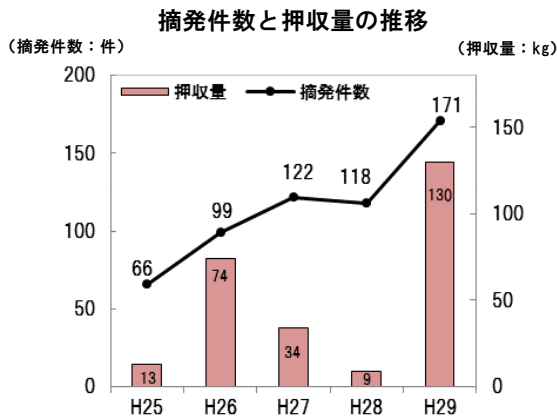
○摘発件数ではタイが最多となり、マレーシアが大幅に増加

○押収量では引き続き中国が最多も、近年上位であったメキシコ・台湾が大幅に減少



### (2) 大麻

- 摘発件数は171件（前年比45%増）と増加し、3年連続で100件を超えた。
- 押収量は約130kg（前年比約14.9倍）と、減少傾向から一転大幅に増加した。



#### (事例5) 海上貨物

南アフリカ来海上貨物の検査において、木製ドア内に隠匿された**大麻 約100kg**を摘発（平成29年12月東京税関）



### (3) 麻薬

- 摘発件数は171件（前年比6%減）、押収量は約82kg（前年比33%減）と、いずれも減少したものの、引き続き高水準となった。

### (4) 指定薬物 \*1

- 摘発件数は274件（前年比43%減）と、最も多かった平成27年（1,462件）の5分の1以下まで減少し、押収量についても約8kg（前年比57%減）と大幅に減少した。

\*1 中枢神経系の興奮・抑制・幻覚的作用を有する蓋然性が高く、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれがあるとして、厚生労働大臣が指定する薬物（医薬品医療機器等法第2条第15項）

## (5) 銃砲等

- 銃砲の摘発件数は7件(前年比75%増)、押収量は19丁(前年比約4.8倍)と、いずれも増加した。

## 2. その他

### (1) 偽造クレジットカード事犯

- 偽造クレジットカード<sup>\*2</sup>の密輸入事犯の摘発が67件(前年比約6.1倍)と急増した。

<sup>\*2</sup> 偽造クレジットカードの原料となるべきカードを含む

#### **【事例1】 偽造クレジットカードの密輸入事犯**

平成29年6月、横浜税関は、マレーシアから  
偽造クレジットカード 2枚  
偽造クレジットの原料となるべきカード 1,125枚  
を密輸入しようとした日本人男性を関税法違反で告発した。



### (2) 知的財産侵害事犯

- 商標権を侵害する電源アダプタ等の密輸入事犯を10件告発した。

#### **【事例2】 商標権を侵害する電源アダプタの密輸入事犯**

平成29年1月、名古屋税関は、中国から  
商標権を侵害する電源アダプタ 100点  
を密輸入しようとした中国人男性を関税法違反で告発した。



#### **【事例3】 商標権を侵害するスマートフォンケースの密輸入事犯**

平成29年4月、神戸税関は、香港から  
商標権を侵害するスマートフォンケース 210点  
を密輸入しようとした日本人男性を関税法違反で告発した。



### (3) その他の事犯

#### **【事例4】 偽造一万円券の密輸入事犯**

平成29年9月、沖縄地区税関は、台湾から  
偽造一万円券 100枚  
を密輸入しようとした台湾人男性を関税法違反で告発した。



#### **【事例5】 炭素繊維製造装置の不正輸出事犯**

平成29年4月、神戸税関は、  
炉(炭素繊維製造装置の一部) 3台  
を、経済産業大臣の許可が必要であるにもかかわらず、これを不要とする虚偽の輸出申告をして中国に不正に輸出した日本人男性等3名、法人3社を関税法違反で告発した。

(資料1) 不正薬物等の摘発実績

種類	年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	前年比
	覚醒剤	件	154	174	83	104	151
	kg	859	549	422	1,501	1,159	77%
大麻	件	66	99	122	118	171	145%
	kg	13	74	34	9	130	14.9倍
大麻草	件	52	52	58	81	115	142%
	kg	12	35	29	6	117	20.0倍
大麻樹脂	件	14	47	64	37	56	151%
	kg	1	40	6	3	13	448%
あへん	件	1	-	-	-	-	-
	kg	0	-	-	-	-	-
麻薬	件	128	91	213	182	171	94%
	kg	135	6	26	121	82	67%
	千錠	17	2	1	1	2	224%
ヘロイン	件	3	2	2	6	6	100%
	kg	4	0	2	0	70	8082.4倍
コカイン	件	10	10	8	12	24	200%
	kg	127	2	18	119	10	8%
MDMA等	件	6	5	23	27	49	181%
	kg	3	0	0	1	0	16%
	千錠	0	0	0	1	2	263%
ケタミン	件	5	7	12	20	18	90%
	kg	0	1	4	1	0	41%
その他麻薬	件	104	67	168	117	74	63%
	kg	1	3	2	1	1	198%
	千錠	17	2	1	0	0	112%
向精神薬	件	33	26	16	11	17	155%
	kg	0	-	0	-	0	全増
	千錠	10	9	7	2	4	195%
指定薬物	件	-	-	1,462	477	274	57%
	kg	-	-	40	19	8	43%
合計	件	382	390	1,896	892	784	88%
	kg	1,007	630	522	1,650	1,379	84%
	千錠	27	11	8	3	6	203%
(参考) 使用回数	万回	3,331	1,885	1,499	5,405	4,637	86%
銃砲	件	4	3	5	4	7	175%
	丁	6	4	5	4	19	475%
うち拳銃	件	4	3	5	4	6	150%
	丁	6	4	5	4	18	450%
拳銃部品	件	-	2	-	-	3	全増
	点	-	2	-	-	4	全増

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。  
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計を示す。  
3. 大麻樹脂は、大麻樹脂その他の大麻の製品の合計を示す。  
4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。  
5. (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。  
(覚醒剤：0.03g、大麻草：0.5g、大麻樹脂：0.1g、あへん：0.3g、ヘロイン：0.01g、コカイン：0.03g、MDMA等及び向精神薬：1錠)  
6. 端数処理のため数値が合わないことがある。  
7. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。  
8. 平成29年の数値は速報値である。



(資料2) 不正薬物の密輸形態別摘発件数

(件)

形態別	年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	前年比	構成比
	航空機旅客等による密輸入		135	171	107	176	214	122%
国際郵便物を利用した密輸入		204	166	1,734	640	526	82%	67%
商業貨物等を利用した密輸入		30	39	45	60	36	60%	5%
航空貨物等		26	27	34	49	32	65%	4%
海上貨物等		4	12	11	11	4	36%	1%
船員等による密輸入		13	14	10	16	8	50%	1%
合 計		382	390	1,896	892	784	88%	100%

(注) 航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

(資料3-1) 覚醒剤の密輸形態別摘発実績

(上段：件、下段：kg)

形態別	年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	前年比	構成比
	航空機旅客等による密輸入		104	126	37	53	99	187%
		304	246	84	79	190	240%	16%
国際郵便物を利用した密輸入		21	22	21	20	38	190%	25%
		7	16	3	53	96	182%	8%
商業貨物等を利用した密輸入		19	16	18	21	11	52%	7%
		539	261	328	653	398	61%	34%
航空貨物等		17	12	13	15	10	67%	7%
		105	71	80	72	48	66%	4%
海上貨物等		2	4	5	6	1	17%	1%
		434	189	248	581	351	60%	30%
船員等による密輸入		10	10	7	10	3	30%	2%
		10	27	6	715	475	66%	41%
合 計		154	174	83	104	151	145%	100%
		859	549	422	1,501	1,159	77%	100%

(注1) 航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

(注2) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注3) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(資料3-2) 覚醒剤の仕出地別摘発実績

(上段：件、下段：kg)

仕出地	年						構成比	合計
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年			
中国（香港・マカオを含む）	38 62	79 200	28 104	34 1,049	20 853	13% 74%	199 2,269	
中国	26 43	32 72	15 76	19 1,025	10 835	7% 72%	102 2,049	
香港	11 16	42 119	12 27	15 25	10 19	7% 2%	90 205	
マカオ	1 3	5 10	1 1	- -	- -	- -	7 15	
台湾	1 1	3 0	4 45	16 104	11 7	7% 1%	35 157	
アジア	28 129	39 35	19 12	18 15	44 65	29% 6%	148 254	
タイ	2 1	26 28	12 6	6 3	21 27	14% 2%	67 65	
マレーシア	2 4	- -	- -	2 7	14 21	9% 2%	18 32	
インド	19 114	- -	2 4	1 2	4 11	3% 1%	26 132	
カンボジア	- -	- -	- -	- -	2 5	1% 0%	2 5	
ベトナム	- -	1 3	- -	2 0	2 0	1% 0%	5 3	
パキスタン	- -	- -	- -	- -	1 0	1% 0%	1 0	
フィリピン	1 0	9 3	4 1	2 0	- -	- -	16 4	
中東	6 12	2 4	2 3	1 0	7 12	5% 1%	18 30	
トルコ	5 10	2 4	1 3	- -	6 11	4% 1%	14 28	
アラブ首長国連邦	1 2	- -	- -	- -	1 0	1% 0%	2 3	
アフリカ	21 90	14 17	2 20	5 38	16 72	11% 6%	58 237	
ウガンダ	5 44	5 6	1 20	4 36	5 23	3% 2%	20 129	
南アフリカ	5 20	3 4	1 1	1 2	3 22	2% 2%	13 49	
ガーナ	1 1	- -	- -	- -	3 7	2% 1%	4 8	
ケニア	4 8	5 6	- -	- -	2 10	1% 1%	11 23	
ベナン	1 3	- -	- -	- -	2 6	1% 1%	3 10	
セネガル	- -	- -	- -	- -	1 3	1% 0%	1 3	
欧州	9 13	17 65	5 4	6 8	22 26	15% 2%	59 117	
オランダ	2 2	1 2	- -	2 0	9 3	6% 0%	14 7	
ドイツ	3 6	1 6	1 0	- -	7 9	5% 1%	12 21	
スペイン	- -	3 10	3 0	1 3	2 8	1% 1%	9 21	
ギリシャ	1 1	- -	- -	- -	1 2	1% 0%	2 4	
イギリス	2 2	1 2	1 4	1 3	1 2	1% 0%	6 11	
オーストリア	- -	- -	- -	1 2	1 1	1% 0%	2 4	
スイス	- -	1 2	- -	- -	1 0	1% 0%	2 2	
ロシア	- -	1 27	- -	- -	- -	- -	1 27	
北米	17 36	6 20	8 3	13 16	19 111	13% 10%	63 185	
米国	12 12	5 17	8 3	12 11	12 96	8% 8%	49 139	
カナダ	5 23	1 4	- -	1 5	7 15	5% 1%	14 47	
中南米	26 516	9 208	7 225	6 260	6 14	4% 1%	54 1,223	
メキシコ	26 516	8 207	7 225	6 260	6 14	4% 1%	53 1,222	
オセアニア	- -	- -	1 0	- -	1 0	1% 0%	2 0	
不明	8 1	5 0	7 6	5 11	5 0	3% 0%	30 17	
合 計	154 859	174 549	83 422	104 1,501	151 1,159	100% 100%	666 4,490	

(注1) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(資料4-1) 大麻の密輸形態別摘発実績

(上段：件、下段：kg)

形態別	年						前年比	構成比
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年			
航空機旅客等による密輸入	19 1	32 28	28 1	49 1	57 3	116% 436%	33% 2%	
国際郵便物を利用した密輸入	40 10	47 4	83 23	59 4	99 10	168% 236%	58% 8%	
商業貨物等を利用した密輸入	5 2	16 41	8 10	9 4	12 118	133% 30.0倍	7% 90%	
航空貨物等	4 2	11 36	6 2	7 4	10 18	143% 456%	6% 14%	
海上貨物等	1 0	5 5	2 8	2 0	2 100	100% 114620.4倍	1% 77%	
船員等による密輸入	2 0	4 1	3 0	1 0	3 0	300% 58.4倍	2% 0%	
合 計	66 13	99 74	122 34	118 9	171 130	145% 14.9倍	100% 100%	

(注1) 航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

(注2) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注3) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(資料4-2) 大麻草の仕出地別摘発実績

(上段：件、下段：kg)

仕出地	年						構成比	合計
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年			
中国（香港・マカオを含む）	1 0	4 1	3 1	3 0	8 0	7% 0%	19 2	
台湾	- -	- -	1 0	1 0	2 0	2% 0%	4 0	
アジア	10 0	6 0	4 3	15 3	10 0	9% 0%	45 8	
アフリカ	1 0	1 0	2 0	- -	2 100	2% 85%	6 100	
南アフリカ	- -	1 0	2 0	- -	2 100	2% 85%	5 100	
欧州	11 0	11 0	16 0	14 0	31 1	27% 1%	83 2	
北米	22 12	24 33	29 24	41 2	55 15	48% 13%	171 86	
米国	22 12	20 33	24 22	28 2	40 10	35% 8%	134 79	
中南米	4 0	2 0	3 0	2 0	3 0	3% 0%	14 0	
オセアニア	1 -	- -	- -	2 0	- -	- -	3 0	
不明	2 0	4 0	- -	3 0	4 0	3% 0%	13 0	
合 計	52 12	52 35	58 29	81 6	115 117	100% 100%	358 199	

(注1) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(資料4-3) 大麻樹脂の仕出地別摘発実績

(上段：件、下段：kg)

仕出地	年						構成比	合計
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年			
中国（香港・マカオを含む）	1 0	2 0	1 0	2 0	3 0	5% 0%	9 0	
台湾	- -	- -	- -	1 0	1 0	2% 0%	2 0	
アジア	3 0	11 37	6 0	3 0	8 11	14% 81%	31 48	
インド	3 0	9 32	2 0	- -	5 11	9% 81%	19 42	
アフリカ	- -	- -	- -	- -	1 0	2% 1%	1 0	
欧州	7 0	11 0	20 0	9 0	17 0	30% 3%	64 1	
北米	3 0	22 3	36 6	17 3	24 2	43% 14%	102 13	
米国	3 0	22 3	33 5	16 3	21 2	38% 14%	95 13	
中南米	- -	- -	- -	1 0	- -	- -	1 0	
不明	- -	1 0	1 0	4 0	2 0	4% 0%	8 0	
合 計	14 1	47 40	64 6	37 3	56 13	100% 100%	218 62	

(注1) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(参考) 関税法(注)違反事件の犯則態様別処分件数

【告発】

(件)

犯則態様	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	前年比	
						前年比	構成比
禁制品輸出入事犯	218	244	343	375	447	119%	93%
関税脱税事犯	3	5	3	2	1	50%	0%
無許可輸出入事犯	9	7	12	14	28	200%	6%
虚偽申告輸出入事犯	4	9	8	4	5	125%	1%
その他	-	-	-	-	-	-	-
合計	234	265	366	395	481	122%	100%

【通告処分】

(件)

犯則態様	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	前年比	
						前年比	構成比
禁制品輸出入事犯	128	128	293	377	155	41%	14%
関税脱税事犯	43	62	52	61	62	102%	5%
無許可輸出入事犯	110	195	537	666	919	138%	80%
虚偽申告輸出入事犯	6	5	3	17	2	12%	0%
その他	1	1	10	6	4	67%	0%
合計	288	391	895	1,127	1,142	101%	100%

(注) 「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う関税法等の臨時特例に関する法律」を含む。



# 報道発表

平成30年2月23日  
横浜税関

## 横浜税関における密輸摘発状況(平成29年)

大量の覚醒剤を相次いで摘発  
過去最高の押収量を記録

### 1. 不正薬物

不正薬物<sup>(\*1)</sup>全体の摘発件数は364件(前年比19%減、全国の約5割)と依然として高水準で推移し、押収量<sup>(\*2)</sup>は約851kg(前年比約2倍、全国の約6割)と“過去最高”を記録

(\*1) 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう

(\*2) 錠剤型薬物を除いたもの

### 2. 覚醒剤

摘発件数は26件(前年比37%増、全国の約2割)、押収量は約843kg(前年比約2.7倍、全国の約7割)と大幅に増加し“過去最高の押収量”を記録

#### ○2件の大口事犯を摘発

- ・東日本で洋上取引による事犯を初めて摘発
- ・商業貨物において、一度の押収量として過去最高となる事犯を摘発

○国際小包郵便物(川崎外郵)からの摘発件数は5件(前年比2.5倍)と大幅に増加

### 3. 国際郵便物(川崎外郵)からの摘発

摘発件数は357件であり、全国の国際郵便物における不正薬物摘発件数の約7割

○指定薬物から様々な薬物(覚醒剤、大麻、コカイン、MDMA)に拡大

○越境Eコマースを利用した手口が多発

### 4. その他

- ・茨城空港において偽造有価証券であるビール共通券を摘発
- ・偽造クレジットカードの密輸入事犯を告発
- ・金の摘発件数は17件(前年比3.4倍)、押収量は約65kg(前年比約4.5倍)と大幅に増加、過去最高

連絡・問合せ先

横浜税関 調査部

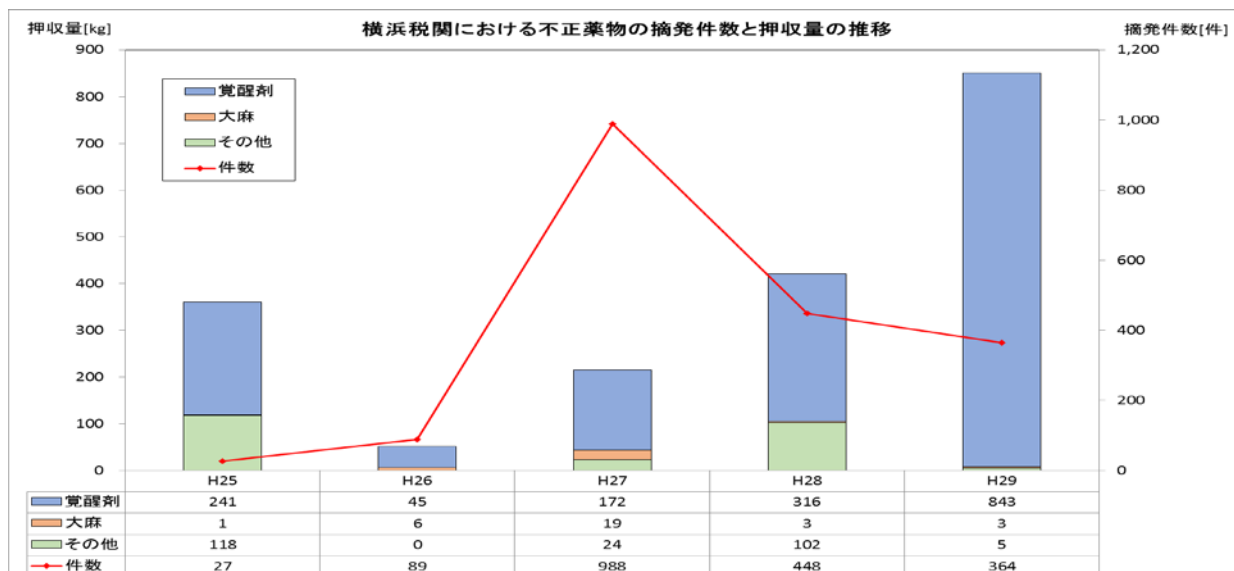
特別審理官(第1担当): 川合

TEL045-212-6080

# 横浜税関における密輸摘発状況（平成 29 年）

## 1. 不正薬物

不正薬物全体の摘発件数は 364 件（前年比 19%減、全国の 46%）と依然として高水準で推移し、押収量は約 851 kg（前年比約 2 倍、全国の 62%）と過去最高を記録した。



（注）その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。  
 なお、指定薬物は平成 27 年 4 月に「輸入してはならない貨物」に追加された。

## 2. 覚醒剤

覚醒剤事犯の摘発件数は 26 件（前年比 37%増、全国の 17%）、押収量は約 843kg（前年比約 2.7 倍、全国の 73%）といずれも大幅に増加しており、押収量は過去最高を記録した。

### ◎2 件の大口事犯を摘発

#### ○東日本で洋上取引による事犯を初めて摘発

#### 【事例 1】 瀬取りによる大量覚醒剤密輸事犯を摘発

平成 29 年 8 月、日本の東方沖の排他的経済水域内において、船籍不詳の船舶が日本国外で積載した覚醒剤約 475 kgを日本の漁船に積み替え、茨城県内の漁港に陸揚げした事犯を摘発した。



## ○商業貨物において、一度の押収量として過去最高となる事犯を摘発

### 【事例2】 海上コンテナ貨物に隠匿された覚醒剤を摘発

平成 29 年 5 月、本牧埠頭出張所において、中国来の海上コンテナ貨物を検査したところ、猫用トイレの砂に偽装された覚醒剤約 351kgを発見・摘発した。

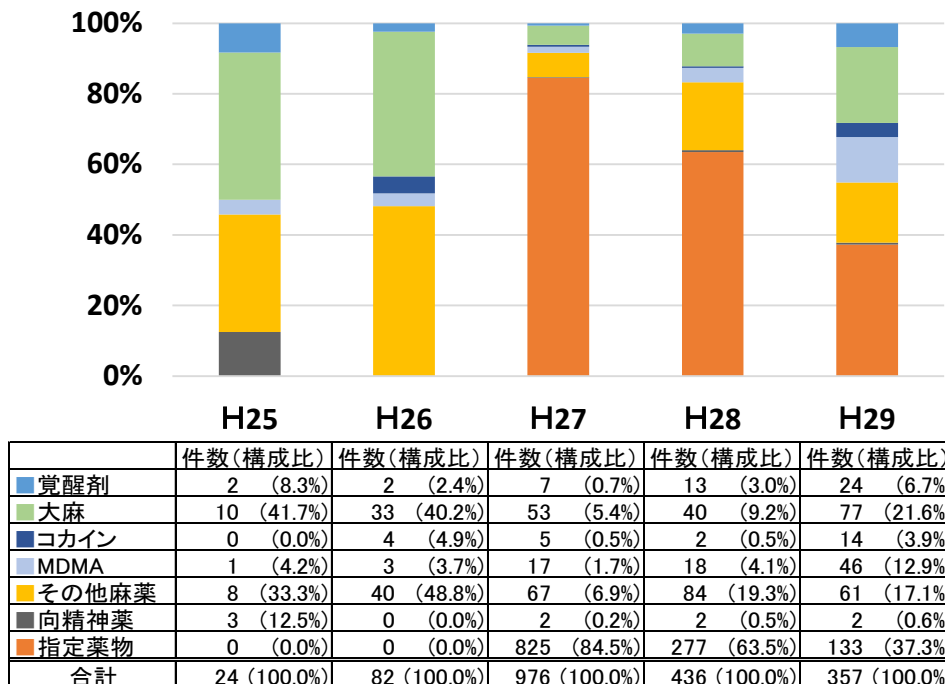


◎国際小包郵便物(川崎外郵)からの摘発件数は5件(前年比2.5倍)と大幅に増加

### 3. 国際郵便物(川崎外郵)からの摘発

摘発件数は357件であり、全国の国際郵便物における不正薬物摘発件数の68%を占めた。

川崎外郵における不正薬物の摘発件数



川崎外郵出張所における指定薬物の摘発は、平成 27 年をピークとして減少しているが、覚醒剤、大麻、コカイン、MDMAの摘発がいずれも増加しており、指定薬物から様々な薬物へ広がっている状況にある。

また、インターネットにより不正薬物を海外サイトに発注する、越境Eコマースを利用した手口が多発している。

## (1)覚醒剤

摘発件数は24件（前年比85%増）と大幅に増加、押収量は約18kg（前年比50%減）

### 【事例1】国際郵便物に隠匿された覚醒剤を摘発

平成29年5月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、覚醒剤2.02gを発見・摘発した。



### 【事例2】国際郵便物に隠匿された覚醒剤を摘発

平成29年7月、カナダ及びドイツから到着した国際郵便物3通を検査したところ、覚醒剤2.29gを発見・摘発した。



## (2)大麻

摘発件数は77件（前年比93%増）と大幅に増加、押収量は約2.5kg（前年比16%増）

### 【事例3】国際郵便物に隠匿された大麻を摘発

平成28年12月、フランスから到着した国際郵便物を検査したところ、大麻3.88gを発見・摘発した。



### 【事例4】国際郵便物に隠匿された大麻を摘発

平成29年7月、英国から到着した国際郵便物を検査したところ、CD-R 2枚を張り合わせた間に隠匿された大麻140.4gを発見・摘発した。





### (3) 麻薬

摘発件数は121件（前年比16%増）と増加、押収量は約1.3kg（前年比約3.8倍）

#### 【事例5】国際郵便物に隠匿された麻薬及び向精神薬を摘発

平成29年6月から10月にかけて、ベルギー、オランダ、英国及びドイツから到着した国際郵便物を検査したところ、麻薬であるMDMA及びコカイン、麻薬である通称「2C-B」及び「LSD」並びに向精神薬を発見・摘発した。



#### 【事例6】国際郵便物に隠匿された麻薬であるヘロイン及びMDMAを摘発

平成29年10月、英国から到着した国際郵便物を検査したところ、麻薬であるヘロイン0.98g及びMDMA6.99gを発見・摘発した。



### (4) 指定薬物

摘発件数は133件（前年比52%減）、押収量は約3.3kg（前年比52%減）

#### 【事例7】国際郵便物に隠匿された指定薬物を摘発

平成27年10月から平成29年4月までの間に、英国及びスペインから到着した国際郵便物5通を検査したところ、指定薬物である通称「メチオプロパミン」、「MDAI」、「5-MeO-MIPT」、「3-メチルメトカチノン」及び「ペンテドロン」を発見・摘発した。



### 【事例8】国際郵便物に隠匿された指定薬物を摘発

平成27年12月から平成29年7月までの間に、米国、ハンガリー、英国及びチェコから到着した国際郵便物8通を検査したところ、指定薬物である「亜硝酸イソブチルを含有する液状物」、「亜硝酸イソプロピルを含有する液状物」及び「亜硝酸イソペンチルを含有するろう状物」を発見・摘発した。



## 4. その他

### 【事例1】偽造有価証券の密輸入事犯

平成29年12月、中国から茨城空港に到着した航空機旅客の携帯品検査において、偽造有価証券（ビール共通券）1,639枚を発見・摘発した。



### 【事例2】偽造クレジットカードの密輸入事犯

平成29年6月、マレーシアから偽造クレジットカード2枚、偽造クレジットカードの原料となるべきカード1,125枚を密輸入しようとした日本人男性を関税法違反で告発した。



### 【事例3】金地金の密輸入事犯

平成29年1月、韓国から仙台空港に到着した航空機旅客の携帯品検査において、金地金3kgを発見・摘発した。



【資料1】社会悪物品の摘発実績（全国・横浜）

種類	年	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		前年比	
			横浜		横浜		横浜		横浜		横浜		横浜
覚醒剤	件	154	3	174	5	83	10	104	19	151	26	145%	137%
	kg	859	241	549	45	422	172	1,501	316	1,159	843	77%	267%
大麻	件	66	11	99	35	122	59	118	43	171	80	145%	186%
	kg	13	1	74	6	34	19	9	3	130	3	14.9倍	99%
大麻草	件	52	11	52	17	58	28	81	34	115	49	142%	144%
	kg	12	1	35	5	29	18	6	1	117	2	20.0倍	188%
大麻樹脂	件	14	-	47	18	64	31	37	9	56	31	151%	344%
	kg	1	-	40	1	6	1	3	2	13	1	448%	54%
あへん	件	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	kg	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻薬	件	128	10	91	48	213	90	182	106	171	121	94%	114%
	kg	135	118	6	0	26	1	121	95	82	1	67%	1%
	千錠	17	2	2	2	1	0	1	1	2	2	224%	279%
ヘロイン	件	3	-	2	-	2	-	6	6	6	3	100%	50%
	kg	4	-	0	-	2	-	0	0	70	0	8082.4倍	19%
コカイン	件	10	1	10	4	8	5	12	4	24	14	200%	350%
	kg	127	118	2	0	18	0	119	95	10	1	8%	1%
MDMA等	件	6	1	5	3	23	17	27	18	49	46	181%	256%
	kg	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	16%	53%
	千錠	0	-	0	0	0	0	1	1	2	2	263%	282%
ケタミン	件	5	-	7	-	12	-	20	3	18	7	90%	233%
	kg	0	-	1	-	4	-	1	0	0	0	41%	56%
その他麻薬	件	104	8	67	39	168	68	117	75	74	51	63%	68%
	kg	1	0	3	0	2	0	1	0	1	0	198%	66%
	千錠	17	2	2	2	1	0	0	0	0	0	112%	229%
向精神薬	件	33	3	26	1	16	3	11	3	17	2	155%	67%
	kg	0	-	-	-	0	0	-	-	0	-	全増	-
	千錠	10	2	9	2	7	4	2	2	4	0	195%	5%
指定薬物	件	-	-	-	-	1,462	826	477	277	274	135	57%	49%
	kg	-	-	-	-	40	23	19	7	8	3	43%	48%
合計	件	382	27	390	89	1,896	988	892	448	784	364	88%	81%
	kg	1,007	359	630	52	522	215	1,650	421	1,379	851	84%	202%
	千錠	27	4	11	4	8	4	3	2	6	2	203%	79%
(参考)使用回数	万回	3,331	-	1,885	-	1,499	-	5,405	-	4,637	-	86%	-

銃 砲	件	4	-	3	-	5	1	4	1	7	1	175%	100%
	丁	6	-	4	-	5	1	4	1	19	2	475%	200%
うち拳銃	件	4	-	3	-	5	1	4	1	6	1	150%	100%
	丁	6	-	4	-	5	1	4	1	18	2	450%	200%
拳銃部品	件	-	-	2	-	-	-	-	-	3	2	全増	全増
	点	-	-	2	-	-	-	-	-	4	3	全増	全増

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。  
 2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。  
 3. 大麻樹脂は、大麻樹脂その他の大麻の製品の合計数量を示す。  
 4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計数量を示す。  
 5. (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回流使用量をもとに換算し、合計したものである。  
 (覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、あへん:0.3g、MDMA等及び向精神薬:1錠)  
 6. 端数処理のため数値が合わないことがある。  
 7. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。  
 8. 平成29年の数値は速報値である。

## 【資料2】密輸形態別摘発件数（全国・横浜）

形態別	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		前年比
		横浜		横浜		横浜		横浜	横浜		
航空機旅客等による密輸	135	0	171	1	107	1	176	1	214	1	100%
国際郵便物を利用した密輸	204	24	166	82	1734	981	640	437	526	359	82%
商業貨物等を利用した密輸	30	1	39	6	45	3	60	9	36	3	33%
航空貨物等	26	0	27	0	34	0	49	0	32	0	—
海上貨物等	4	1	12	6	11	3	11	9	4	3	33%
船員等による密輸	13	2	14	0	10	3	16	1	8	1	100%
合 計	382	27	390	89	1896	988	892	448	784	364	81%

（注）航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

## 【資料3】不正薬物の仕出国別摘発件数（横浜）

仕出国等	オランダ	米国	英国	スロベニア	台湾	スペイン	カナダ	チェコ	ドイツ	フランス	その他	合計
摘発件数（件）	98件	51件	38件	26件	25件	22件	20件	15件	9件	7件	53件	364件
（うち国際郵便物）	（97件）	（51件）	（38件）	（26件）	（25件）	（22件）	（20件）	（15件）	（9件）	（6件）	（50件）	（359件）
構成比（%）	26.9%	14.0%	10.4%	7.1%	6.9%	6.0%	5.5%	4.1%	2.5%	1.9%	14.6%	100.0%



# 横浜税関

## 資料展示室リニューアルオープン!!

&

## 庁舎見学会(クイーンの塔)

# 3.10 Renewal Open Yokohama Customs Museum

平成 30 年は、明治元年から起算して満 150 年に当たるんだ。  
当日は「**明治 150 年**」の特設コーナーも設置するワン!

3 月 10 日(土)は  
「**三塔の日**」  
イベントデーだよ!



税関イメージキャラクター  
「カスタム君」

**庁舎見学会日時：3 月 10 日(土)**

**10:00~17:00**

横浜税関資料展示室(クイーンのひろば)は、本年2月上旬から改装工事を行い、3 月 10 日(土)にリニューアルオープンします。

昨年の横浜港における外航クルーズ船の入港隻数が過去最高を記録するなど、近年、外国人旅行客は増加しています。これに対応するため、昨年導入した多言語対応のQRコードに引き続き、今回のリニューアルでは資料展示室の展示内容を外国語(日本語も含む。)で説明する”**音声ガイド**”を新たに導入します。さらには、税関の仕事や検査機器を実際に体験することができる”**おしごと体験コーナー**”も新設して、“見る展示室”から“聞く・体験できる展示室”へと変身します。

なお、当日は愛称「クイーンの塔」で親しまれている庁舎の一部を公開する『**庁舎見学会**』をはじめとして、**音楽コンサート**等各種イベントを開催します。(詳しくは、裏面をご覧ください。)

また、「キングの塔」(神奈川県庁)と「ジャックの塔」(横浜市開港記念会館)でも、イベントが開催されていますので、是非、この機会に改装された“クイーンのひろば”をはじめとして「横浜三塔」を堪能してみませんか?

# ～リニューアルオープンイベント・庁舎見学会情報～

## 参加自由(事前予約不要)

### 資料展示室リニューアルオープンイベント

#### 【音楽コンサート（横浜税関音楽隊）】

(7階大会議室)

1回目：12：00～（約30分）

2回目：14：00～（約30分）

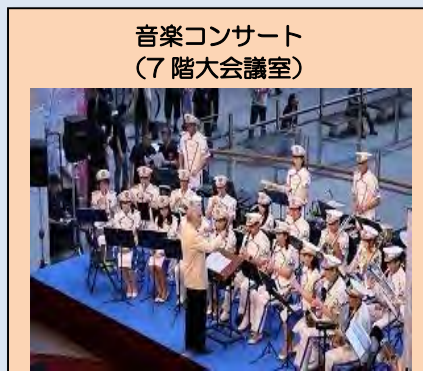
#### 【麻薬探知犬デモンストレーション】

(1階ロビー)

1回目：11：00～（約20分）

2回目：13：10～（約20分）

3回目：15：10～（約20分）



音楽コンサート  
(7階大会議室)



麻薬探知犬デモンストレーション  
(1階ロビー)

#### 【カスタム君と記念撮影】

1階ロビー（「麻薬探知犬デモンストレーション」終了後の3回（約20分間））

※カスタム君は「麻薬探知犬デモンストレーション」後に登場します。

#### 【制服を着て記念撮影（中学生以下限定）】

1階ロビー（10：00～17：00）

※防弾チョッキも用意しています。

### 庁舎見学会（10：00～17：00）

#### 【7階展望デッキ】

横浜港が一望できます。

#### 【3階保存室】

昭和9年の創建当時に復元されたマッカーサー元帥が執務していたといわれている旧税関長室他3室をご覧ください。



7階展望デッキからの展望



3階保存室（旧税関長室）

#### 【アクセス】

- ①みなとみらい線「日本大通り駅」から徒歩3分
- ②JR「関内駅」から徒歩10分
- ③市営バス26系統「横浜税関前」下車、直ぐ前  
横浜税関1階「資料展示室」

住所：横浜市中区海岸通1丁目1番

※駐車場はございませんので、  
公共交通機関をご利用下さい。

#### 【問合せ先】

横浜税関 税関広報広聴室

Tel.045-212-6053/Fax045-212-5535

